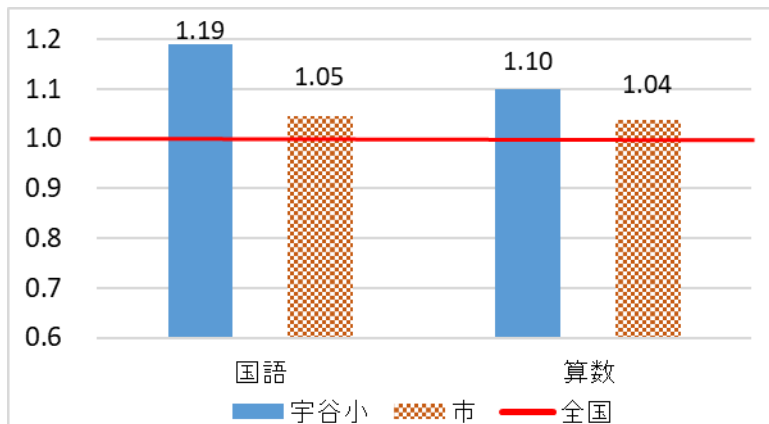


令和3年度 全国学力・学習状況調査について

第十中学校区 宇谷小学校

第6学年

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



○調査結果についての分析、今後の改善方策

【国語】

「知識及び技能」の「言葉の特徴や使い方に関する事項」領域の「思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う」と、「思考力、判断力、表現力等」の「話すこと・聞くこと」領域の「資料を用いた目的を理解する」問題が全国平均を上回り、高い得点であった。また、記述式の問題に対しても、昨年度より向上している。引き続き、目的や意図に応じて、理由を明確にして書く学習活動に丁寧に取り組んでいく。

【算数】

ほぼ全項目において、全国平均を上回る結果であった。唯一「図形」領域の「三角形の求め方」について全国平均をやや下回ったが、昨年度からの課題であった記述式の問題については、全国平均を大きく上回る結果となっている。引き続き、自ら課題と向き合い、既習の知識や技能を使って自発的に解決しようとする主体的な学びをめざし、論理的に考える力の育成に取り組んでいく。

【質問紙調査】

「自分には良いところがある」の値が、全国値を下回っており、「自分に自信がない」と考えている児童の割合が多い傾向がみられる。今後、一人一人が自信を持てるような主体的な取組の積極的実施が必要であると考え。また、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」については、全国値を上回り、いじめは絶対してはいけないと考える人権意識の高さを伺うことができた。

○学力向上の取組

【中学校区】

- ・ねやがわスタンダードをもとに、家庭教育・学習規律について共通理解を図る。
- ・小中一貫会議の各部会（国語部会、算数・数学部会、国際コミュニケーション・英語部会）で、学力テストについて、経年的に各校の取組の成果を検証するとともに、三校合同授業研究会の充実を図る。

【学校】

- ・学力テストの対策と分析研修
- ・学力向上プリントの作成実施
- ・ねやがわスタンダードをもとにした家庭学習ノートの充実
- ・全学年、校内研究テーマである「主体的な学びをめざして」の実現に向けた研究授業及び授業改善の実施